

# 仕 様 書

第18回新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン（以下「本大会」という。）における計時・計測等業務の仕様について、以下の条項のとおり定める。

## 1 件名

第18回新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソンにおける計時・計測等業務委託

## 2 目的

専門事業者の技術、知識、経験等を活用し、別表の種目・部門のうち、スペシャルラン及びびよこを除くものについて、トランスポンダーシステムにより、参加者のスタート、周回及びフィニッシュ記録の正確な計時・計測（以下「計時・計測」という。）を行うこと、本大会参加者に対する記録証及び賞状を発行することその他これらに付随する業務を行うこと（以下「本業務」という。）により、本大会の参加者の満足度を高めるとともに、本大会の価値及び信用を高めることを目的とする。

## 3 大会概要

- (1) 開催日 2020(令和2)年1月26日(日)
- (2) メイン会場 明治神宮野球場
- (3) 主催 新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン実行委員会  
公益財団法人東京陸上競技協会

## 4 業務内容・履行体制

本業務の内容及び履行体制は次のとおりとする。

### (1) 参加者名簿の作成

新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン実行委員会（以下「委託者」という。）が、電磁的記録（csv形式及びexcel形式）により提供する本大会参加者の情報について、別表の種目・部門ごとに計時・計測システムに対応する形式に変換し、（変換する形式については、事業者の持つ計時・計測システムによる。）名簿を作成・提出する。

名簿の仕様は次のとおり。

#### ① 形式

電磁的記録（csv形式）

#### ② 提出期限

委託者から電磁的記録の提出のあった日から30日以内。ただし、委託者から追加のデータの提出があった場合、当該部分の提出については当該追加データの提出のあった日から7日以内を基準として、委託者と受託者の間で調整する。

#### ③ 掲載内容

ア ナンバー（種目、部門その他委託者の指定する方法により分類し、付番する。）

イ 出場する種目・部門

ウ 予想タイム（ただし、(7)の計時・計測を行う者に限る）

エ 参加者氏名・フリガナ

オ 子の氏名（別表に定める種目・部門のうち、ファミリーラン及びびよこ（以下「ペア競技」という。）に限る。）

カ 年齢

- キ 男女の別
- ク 生年月日
- ケ 郵便番号
- コ 住所
- サ 所属
- シ 電話番号
- ス 登録陸上競技協会名（陸連登録の部（ハーフマラソン男女及び10km男女）に限る。）
- セ 陸上競技協会登録番号（陸連登録の部（ハーフマラソン男女及び10km男女）に限る。）
- ソ 緊急連絡先
- タ 伴走者の有無
- チ 上記のほか、計時・計測に当たって委託者に伝える必要のあること（備考等）

④ 提出先

「新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン実行委員会事務局」（東京都新宿区大久保三丁目1番2号）

(2) ナンバーカードセットの作成（デザイン含む）

(1)で作成した名簿に基づく本大会の参加者（以下「参加者」という）、ゲストランナー及び救護ランナー等のナンバーカードを作成・印刷する。

ナンバーカードの仕様は次のとおり。

① サイズ等

横22cm×縦19.3cm四方穴あけ

② 刷色

4色（詳細は委託者と受託者で調整する）

③ 数量

ナンバーカードは、2枚一組として、ゲストランナー及び救護ランナー等必要数、伴走者用必要数その他の参加者1名につき2枚1組を作成するものとする。

ただし、ペア競技については、参加者1組につき1組を作成するものとする。

④ デザイン・色

ナンバーカードには以下の内容を印刷するものとする。ただし、ゲストランナー用にはゲストランナーの氏名を、伴走者用には「伴走」のみを印刷するものとする。

また、救護ランナー等については、委託者と受託者で調整の上内容と数量を定め、印刷するものとする。

ア 参加者のナンバー

イ 参加者の氏名。ペア競技については、参加者2名の氏名を併記する。

ウ 委託者が認めた本大会の協賛者の広告

エ 出場する種目・部門

オ 本大会の名称

カ トランスポンダーシステムによる計測用ICタグ（以下「ICタグ」という）貼付欄（(7)の計時・計測を行う種目の参加者のみ。1組につき1枚のみ貼付）

ただし、ナンバーカード貼付が必要でない計測機器の場合は、この限りでない。

キ その他計測のため必要となる情報

上記のほか、デザインの詳細については、委託者と受託者の協議により決定するものとする。受託者は、完全版下を作成し、委託者の承諾を受ける。

委託者は、デザイン素材（広告データ等）を、電磁的記録により提供する。

⑤ 安全ピンの添付

ナンバーカード1枚につき安全ピン（全長24mm以上）4本を添付する。

### (3) 返却用封筒の作成

本大会当日出走しなかった若しくはできなかった参加者又は本大会当日出走したが(4)の②のICタグを返却しなかった若しくはできなかった参加者が、計測機器を返却するための封筒を作成する。

ただし、ICタグの返却が不要な提案の場合は作成しない。返却用封筒の仕様は次のとおり

- ① サイズ  
長型4号
- ② 刷色  
単色
- ③ 郵便形式  
普通郵便・料金受取人払
- ④ デザイン  
デザインについては、委託者と受託者の協議により決定するものとする。  
委託者は、デザイン素材を、電磁的記録により提供する。  
受託者は、完全版下を作成し、委託者の承諾を受ける。
- ⑤ 枚数  
(7)の計時・計測を行う参加者1名につき1枚作成するものとする。

### (4) 封入

委託者が作成する通知用封筒に封入を行う。封入物は次のとおり。

- ① ナンバーカードセット（ナンバーカード1組、安全ピン8本、その他ナンバーカードに係るもの（説明書等））
- ② ICタグおよびその他ICタグにかかるもの。
- ③ 参加通知書（委託者から提供する。）
- ④ 返却用封筒（(7)の計時・計測を行う種目の参加者のみ）
- ⑤ 協賛特典（チラシ、協賛物品等。委託者から提供する。）

### (5) ナンバーカード等の発送及び不着者への対応

(4)で封入したナンバーカード等を、参加者宛て発送する。

送付したナンバーカード等が不着により返還された場合、次の流れにより対応する。

- ① 当該不着者に対し、電話連絡により住所確認を行い、大会2日前までに到着可能な場合であり、当該不着者が受取り可能な場合、再送付を行う。  
再送付が困難な場合、当該不着者のナンバーカード等を大会当日まで保管し、大会当日に特別受付場所を設け、顔写真付きの身分証明書等による本人確認の上、直接本人に手渡す。  
電話連絡で住所確認が取れなかった不着者に対しては、当該不着者の一覧を作成し、電磁的記録(excel形式)により報告を行う。  
特別受付場所の設置箇所は、委託者との協議により定めるものとする。
- ② ①の電話連絡で住所確認が取れなかった不着者に対しては、ナンバーカード等を大会当日まで保管し、当該不着者から問合せがあった場合には、①に準じ再送付等を行う。
- ③ ①の電話連絡で住所確認が取れず、②の問合せもない不着者に対しては、ナンバーカード等を大会当日まで保管し、大会当日に申出があった場合、①の特別受付場所において、顔写真付きの身分証明書等による本人確認の上、直接本人に手渡す。
- ④ 受託者は担当問い合わせ窓口を定め、ナンバーカード発送に関する問い合わせ対応を行う。  
なお、種目の変更等、大会要項に関わる変更等については、都度委託者に確認の上行う。

### (6) ナンバーカード等を持参しなかった者への対応

大会当日ナンバーカード、計測機器等を持参しなかった参加者（以下「不持参者」という。）に対し、次のとおり対応する。ただし、受託者が自らの責任と費用の下に全ての対応を行う場合

には、これによらないことができる。

- ① (2)に準じ、予備のナンバーカードセットを、(2)の④のナンバーカードのデザイン及び色ごとに5組ずつ用意し、本大会当日持参する。
- ② 本大会当日、(5)の①で設置する特別受付場所において、不持参者に対し、顔写真付きの身分証明書等により本人確認を行い、再発行等を行う
- ③ 再発行等の手数料（金額は、不持参者が全額を負担することを原則として、委託者と受託者の協議により設定する。）については、受託者が直接徴収する。
- ④ 機器の不具合または参加者の責によらないナンバーカード等不着への再発行については、再発行等手数料の徴収は行わない。
- ⑤ 委託者は受託者に対し、②および④の件数について委託者に報告する。

#### (7) 計時・計測

以下の手順により計時・計測を行う。

- ① 計測に係る人員、車両、機材等を手配し、大会当日、各計測地点に配置する。計測地点は原則スタート地点、フィニッシュ地点、ハーフマラソンにおける10km地点、周回確認地点とし、別途委託者と調整のうえ定める。特に路面等への配置に当たっては、参加者、歩行者の転倒等の事故が発生することのないよう、安全に十分に配慮すること。また、路上への機材設置撤去作業は原則大会当日6:00以降16:00までとする。
- ② ①で設置した計時・計測地点において、トランスポンダーシステムを使用した計測システム（公益財団法人日本陸上競技連盟公認のものに限る。）により、参加者のグロスタイム、ネットタイム、周回タイム及びハーフマラソンにあつては10km地点通過タイムの計時・計測を行う。また、ICタグによる計時・計測に不具合が発生する場合に備え、ビデオカメラ等による撮影を行う。
- ③ ②の結果を計時・計測本部で集計し、種目・部門ごとに委託者に報告する。

#### (8) 記録証等の印刷・発行

計時・計測を行った種目のうち完走した者に対し、次の手順により記録証（B5サイズまたはA4サイズを原則とする）の発行を行う。また、(7)の計時・計測を行わない種目の完走証を、印刷の上、大会前日までに委託者宛て提出する。記録証及び完走証のデザインは、委託者が提供する。

- ① 明治神宮野球場内に記録証発行所を設置し、人員、機材等を配置する。設置場所は、委託者、明治神宮野球場、警備事業者その他の関係者との協議により定めるものとする。
- ② ①で設置した記録証発行所において、(7)の結果に基づき、本人確認及び記録証の発行を行う。記録証のデザインについては、委託者と受託者の協議により決定する。
- ③ 完走はしたが記録証発行所に来なかった者の記録証については、次のいずれかの方法により対応する。
  - ア 大会終了後、印刷の上委託者に提出する。
  - イ 完走はしたが記録証発行所に来なかった者から後日記録証の発行の依頼があつた場合、受託者が記録証を印刷・封入の上発行送信する。この対応による発行は、原則として大会終了後契約期間内までの間行うものとする。ただし、受託者が期間終了以降も自主的に対応することを妨げない。

#### (9) 記録の取れなかった者への対応

計測機器及び計測機材の不具合による記録が取れなかった者に対し、本大会の競技運営を主として行う公益財団法人東京陸上競技協会と協力し、その原因を明らかにするとともに必要な対応を行う。

#### (10) 表彰状の作成（デザイン含む。）

(7)の結果に基づき、表彰状（A4サイズを原則とする）を作成する。表彰状のデザインにつ

いては、委託者と受託者の協議により決定する。

作成した表彰状のうち、別表で「当日表彰」とされているものについては、大会当日、委託者がメイン会場に設置する競技本部で確認を受けた上で委託者宛て提出する。「後日送付」とされているものについては、大会終了後、公認記録が確定した後に受託者が直接本人宛て送付する。

(11) 計時・計測に係る専属スタッフの手配（交通費、食費、宿泊費等含む。）

(12) ICタグ未返却者への対応

大会終了後もICタグを返却していない者に対し、電話、電子メールその他の方法により返却を促す。返却されなかった又は返却が困難となったICタグへの補償については、当該ICタグを使用した参加者本人による負担を原則として、委託者と受託者の協議により決定する。ただし、ICタグの返却を要さない計測システムを使用する場合には、この対応は行わない。

(13) 先導・後走の位置の把握

大会当日、ハーフマラソン及び10kmにおいて、委託者及び委託者の指定する者が、先導（先頭のランナーより先に自転車で走行し、先導するものをいう。以下同じ。）及び後走（最後尾のランナーを自転車で追走するものをいう。以下同じ。）の位置を、GPS（全地球測位システム）等（以下「位置把握システム」という。）の活用により即時に把握できるよう次の業務を行う。

ア 位置把握システムの準備（この機器の設定を含む。）

イ 位置把握システムのため使用する機器の貸与

大会開催の間、次の機器を委託者に貸与する。受渡し及び返却については、受託者の職員が直接使用者に持参し、回収するものとする。

① スマートフォン：5台程度

② タブレット端末：4台程度

③ モバイルwi-fiルーター：3台程度

ウ 担当者の配置

大会開催の間、明治神宮野球場に担当者を配置し、位置把握システムの利用者に対し、使用方法等の助言を行うほか、位置把握システムに障害が発生した場合の対応を行う。

(14) ランニングポリスウェアの作成

次の仕様によりランニングポリス用のビブス及びキャップを作成する。

種別	サイズ	印刷等	デザイン	数量
ビブス	フリーサイズ	胸・背両面印刷	委託者と受託者 両者調整のうえ定める	
キャップ	フリーサイズ	文字刺繍		

## 5 契約形態等

(1) 契約方法 単価契約 ※受託者より予め提出した見積書に定める単価による。

(2) 契約期間 契約締結の日から2020(令和2)年3月20日(水)まで

(3) 支払方法 受託者は本業務終了後、実績に応じて、委託者に対して業務報告書と合わせて請求書を提出する。

委託者は、内容を確認のうえ、1か月以内に請求額を受託者指定の銀行口座に振込む。

## 6 その他、本仕様に定めのない事項については、双方協議のもとに定める。